

2018年6月15日
株式会社東陽テクニカ

審査員特別賞受賞
Interop Tokyo 2018「Best of Show Award」
マネジメント&モニタリング&テスト部門
セキュリティパフォーマンステスター「Spirent CyberFlood CF20」

株式会社東陽テクニカ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：五味 勝）は国内最大級の ICT イベント「Interop Tokyo 2018」に出展し、“Best of Show Award”で、当社販売の Spirent Communications Inc.（本社：アメリカ カリフォルニア州サンノゼ）のセキュリティパフォーマンステスター「Spirent CyberFlood CF20」がマネジメント&モニタリング&テスト部門の審査員特別賞を受賞いたしました。

「Best of Show Award」とは、出展企業各社からエントリーされる約 300 もの新製品の中から、有力メディア各社のキーマンと学会の識者によって編成される審査委員会が厳正なる審査をもって、最も優れた製品・ソリューション「今年の一品」を表彰するものです。

■ **セキュリティパフォーマンステスター「Spirent CyberFlood CF20」**



1G/10G/40G/100G に対応したセキュリティとパフォーマンスを評価するオールインワンテストアプライアンスです。

- ・テストポート、ライセンスサーバ、管理コンソールを 1 台に集約
- ・9,000 種類以上のリアルなアプリケーションテスト
- ・新規マルウェア検体をいち早くテストシナリオとして提供
- ・脆弱性を突く攻撃（Exploit）シグネチャを含むシナリオ試験

◆ 製品サイト：<https://www.toyo.co.jp/ict/products/detail/cyberflood.html>

【 審査委員会の評価（公式コメント） 】

「マルウェアの挙動を基本としてファイアウォールのテストを可能にしている点、NetSecOPENに対応し性能評価が可能であること、将来 Avalanche との統合も検討されていることを評価した。」

<株式会社東陽テクニカについて>

東陽テクニカは 1953 年の創立以来、世界最高水準の“はかる”技術の提供をコアコンピタンスとし、最先端の測定機器の輸入販売と自社開発製品の提供によって、官公庁、大学ならびに企業の研究開発を支援してきました。技術分野は、情報通信、自動車計測技術、環境エネルギー、EMC（電磁波障害）試験、海洋調査、ソフトウェア開発支援、メディカルなど幅広く、米国や中国の現地法人などを通じて世界にも提供しています。

また、2016～2017 年にかけて新しい 3 組織「セキュリティ&ラボカンパニー」「技術研究所」「ワン・テクノロジー・カンパニー」を設立。サイバーセキュリティサービスの提供、自動運転車の開発支援、AI（人工知能）を使ったデータ解析など、新しいソリューションの創造に取り組んでいます。

東陽テクニカは「“はかる”技術で未来を創る」のスローガンのもと、これからも産業界の発展と安全で環境にやさしい社会づくりに貢献してまいります。

株式会社東陽テクニカ Web サイト：<https://www.toyo.co.jp/>

★ 本件に関するお問い合わせ先 ★

株式会社東陽テクニカ 情報通信システムソリューション部

TEL：03-3245-1250（直通）

E-mail：ict_contact@toyo.co.jp

「Spirent CyberFlood CF20」：

<https://www.toyo.co.jp/ict/products/detail/cyberflood.html>

※本ニュースリリースに記載されている内容は、発表日現在の情報です。製品情報、サービス内容、お問い合わせ先など、予告なく変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

※記載されている会社名および製品名などは、各社の商標または登録商標です。